



アストン

標準施工要領書

一液型無黄変ウレタン樹脂

床用
大面積用

透水性天然石最密構造樹脂舗装材

正しい施工を行うために必ず施工要領書をお読みください!!

下地について

- 下地はコンクリート、またはモルタルです。
(ブロック、洗い出し、砂利の上に直接“彩アストン”を施工することはできません)
- 下地は完全に乾燥させてください。(含水率 10%以下)
新設コンクリート…14日以上
モルタル下地………7日以上
- コンクリート・モルタルともに**金ゴテ押さえ同等**の精度としてください。(木ゴテ押さえ、刷毛引きの上には施工できません。)
- 油脂類は、シンナーなどで完全に拭き取ってください。
- ひび割れ・不陸のある場合は下地の補修を行ってください。
- ほこり・ゴミ・コケなどは十分に清掃してください。



コンクリート・モルタル
金ゴテ押さえ



コンクリート・モルタル
木ゴテ押さえ



コンクリート・モルタル
刷毛引き

施工前にご用意していただくもの



※別売



にチェックを入れ、ご確認ください。

- 金ゴテ
- 台秤
- プライマー用ローラー
- 転圧用ローラー
- 刷毛
- 舟、クワ 若しくはモルタルミキサー
- 下げ缶

※彩専用洗剤 (4ℓ) は別売です。

×ご注意

骨材とバインダー (樹脂) を混練する際は、ハンドミキサー (手持ち式電動攪拌器) を使用しないでください。攪拌不良によりバインダー (樹脂) の発泡及び骨材のふくれが発生します。



ヤブ原産業株式会社

YABUHARA Industry CO.,LTD.

1. プライマー塗布



● プライマー塗布はコンクリート・モルタルと骨材との接着強度を増す為に行います。プライマーをローラー皿等に移します。

使用材料 彩水性プライマー 4kg

● 150g/m²の目安で均一に塗布します。



● 端部などは廻りを汚さないように刷毛を使用してプライマーを塗布します。

※石、タイル、モルタル、ピンコロ石等に付着するとシミになり除去ができなくなってしまうので5mm程度隙間を空けて塗ってください。

(テープで養生しても、テープから浸みこむ場合があります)



● 吸込み量の少ない下地については、1回の塗布にしてください。ただし、吸込み量の激しい下地については、2回以上塗布してください。

※塗布直後は靴の裏にプライマーが付着して、周囲を汚してしまうことがありますのでご注意ください。

※塗布後は乾燥させてから次工程に移ってください。塗布後、乾燥までの時間は夏期1時間、冬期2時間以上が目安です。

※プライマーが溜まっている場合、または塗布し過ぎた場合は、ウエス等で拭き取ってから骨材の塗り付けを行ってください。

2. 樹脂の混入と混練



● バインダーを計量します。**骨材1袋 (20kg) に対し1.15kg**のバインダーを使用します。

※樹脂量は骨材重量(グラベル+最密骨材)に対して4.9%です。樹脂量は必ず正確に計量してください。

※必ず量りをご用意ください。

使用材料 彩バインダー 18kg グラベル 20kg



※骨材1袋を全量練らない場合、最密充填骨材をよく攪拌したのち、骨材の量に対して重量比で17%計量して混入してください。

※その際のバインダーの量は(骨材+最密充填骨材)に対して、重量比で4.9%としてください。

例：骨材10kgの場合
最密充填骨材1.7kg バインダー580g



● モルタルミキサーまたはフネに先に骨材を混入し、計量したバインダーを混入し、骨材とバインダーが均一に混ざるようにします。

※混練が不十分な場合、強度不足や発泡の原因となります。

3. 最密充填骨材の混入と混練



使用材料
最密充填骨材

- 骨材20kgに対し最密充填骨材1袋を徐々に加え、全量を混練してください。最密充填骨材が均一に混ざるまでよく混練してください。

※最密充填骨材は必ず全量を混入してください。
 ※最密充填骨材を混練する際は骨材と樹脂の混練後としてください。
 ※混練後の放置、混練ムラによる樹脂だまりがあった場合は発泡の原因になりますので注意してください。
 ※混練が不十分な場合、強度不足や発泡の原因となります。

4. 骨材の塗り付け



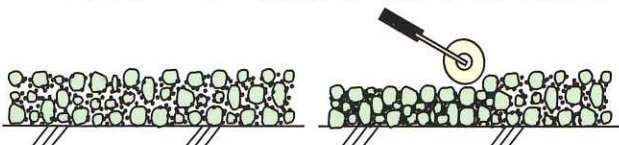
- 混練した骨材は、すばやく8mm厚平均で塗りつけてください。

※一ヶ所に放置しておくと、樹脂だまりができて発泡の原因になるので、放置しないでください。
 ※練舟・モルタルミキサーに残っている骨材をかき出すときは、樹脂だまりができていないため、一度混練してください。
 ※混練後の可使用時間は、一般用(30℃)約50分。冬用(15℃)約40分ですので、時間内に施工を終了してください。
 ※他の部材等にバインダーが付着すると、その箇所が変色や染みになって除去できなくなる場合がありますので、十分注意して施工してください。
 (テープで養生しても、テープから浸みこむ場合があります)

5. ローラー押さえ



- ウーローラーまたはヘッドカットローラーを使用し、骨材を押さえつけるように転圧し骨材が密になるようにします。ローラーで縦横ムラの無いように転圧しま



ローラーで転圧し、骨材間を緻密にして最密構造体に仕上げます。

ローラーは新しいものを使用し、プライマーで使用したものは絶対に使用しないでください。

6. コテ押さえ・仕上げ



- 仕上げは金ゴテでよく押えて表面を平滑にしてください。

※最後の押えは必ず、彩専用洗浄剤で金ゴテを拭き、石が立たないように施工してください。



彩専用洗浄剤 4L缶

【別売品】

- 彩専用洗浄剤を含ませた刷毛等で金ゴテを拭き、コテ切れをよくしてください。

※コテに樹脂が付着しているとベタツキが残り、骨材を引っ張ってしまい石が立ってしまいます。

7. 養生

- 養生時間
 - 夏期：12時間以上（翌日以降）
 - 冬期：36時間以上（中1日以上）



- 樹脂だまりがあると発泡がでます。

※発泡を放置しておくと、このまま硬化してしまいます。硬化した発泡箇所は所り取り再施工してください。
 ※発泡は施工後1時間～2時間で発生します。



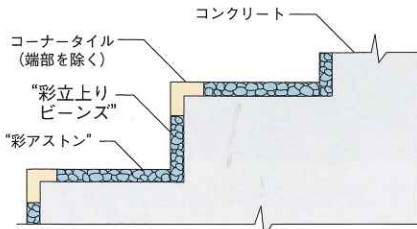
- 硬化前なら発泡は消すことができます。

※発泡を発見したらすぐに彩専用洗浄剤を刷毛に含ませ、発泡した箇所を上から軽く叩くようにし発泡を除去します。
 ※刷毛を横に動かすと、硬化前の骨材が動いてしまうため避けてください。

発泡対策

納まり

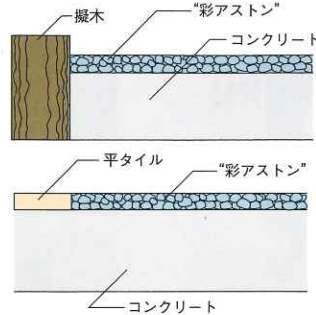
●階段（出隅）の仕上げ



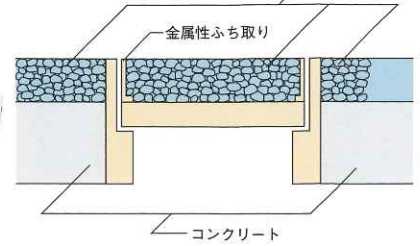
階段の蹴上げ部は平タイルで処理します。また段鼻部の仕上げはコーナータイルか平タイルを貼り、両端のみ「彩アストン」を埋め込む等の排水処理を行ってください。

●縁まわりの仕上げ

「彩アストン」の端部は、ボーダー・タイル・緑石・擬木などで処理してください。



●ふたまわりの仕上げ



「彩アストン」の端部には、ステンレスが真ちゅうのふち取りを施します。また、ふた部分にはL字型のふち取り材を接着し施工します。

※立上りには、「彩立上りビーンズ 1㎡セット (8mm厚)」があります。 ※排水設備は必ず設けてください。
 ※区画目地は原則として、コンクリート目地に沿って設置します。

施工上の注意事項

- 他の部材等にプライマーやバインダーが付着すると、その箇所が変色や染みになって除去できなくなる場合がありますので、十分注意して施工してください。(テープで養生しても、テープから浸みこむ場合があります)
- 内部で換気の手がかりが少ない場所に施工した場合、施工後臭気を感じる可能性があります。●雨の日の施工、未乾燥下地の施工は、正常に硬化しませんので避けてください。また、未硬化のうちに降雨の恐れがある場合の施工も避けてください。
- 骨材、最密充填骨材は絶対に濡らさないでください。もし骨材が水濡れした場合は、広げて十分に乾燥させてください。
- 強風などにより、硬化前にホコリやゴミが付着する恐れがある場合は施工を避けてください。
- 夏期の直射日光下に材料を長時間置きますと、材料温度が高くなり、可使用時間が極端に短くなるため、保管場所にご注意ください。
- 夏期、35℃以上の炎天下での施工は、可使用時間が極端に短くなるので、早朝か、夕方など気温が下がっている時に施工してください。
- 冬期、気温 5℃以下での施工は避けてください。
- バインダーが肌に付着しないようゴム手袋を使用し、万一肌が付着した場合は、石鹸ですぐに洗い流してください。
- バインダーを使用した用具は「彩専用洗浄剤」で良く洗ってください。

【注意書き】

【安全対策】

- 容器を密閉しておくこと。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護マスク、保護衣を着用すること。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- 粉じん、蒸気、ミスト、スプレーを吸入しないこと。
- 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 取扱い後は良く手や顔、眼を洗い、うがいをすること。
- 環境への放出を避けること。
- 水・アルコール類・アルカリ性物質との反応するので、密閉容器中でこれらのものと混合しないこと。

【応急措置】

- 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。呼吸に関する症状が出た場合、直ちに医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
- 皮膚または髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎまたは取り除くこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。

- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合、口をすすぐこと、無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。
- 暴露またはその懸念がある場合、医師の診断/手当てを受けること。
- 漏出物は回収すること。

【保管】

- 容器を密閉して、涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。
- 子供の手の届かないところに保管すること。

【廃棄】

- 内容物や容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

※詳細な内容は、安全データシート(SDS)をお読みください。

- ・骨材は天然石のため、ロットにより多少色調の違う場合がありますのでご注意ください。
- ・骨材は天然石のため、錆が出る場合があります。
- ・酸性の影響によっては、骨材が欠けたりする可能性があります。
- ・骨材1袋を全量を練らない場合、最密充填骨材をよく攪拌したのち、骨材の量に対して重量比で17%計量してください。またその際のバインダーの量は(骨材+最密充填骨材)に対して、重量比で4.9%としてください。

※商品の仕様等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。



ヤブ原産業株式会社

本社 / 〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
 ☎ 048(297)4111 Fax 048(290)1198
 URL <http://www.yabuhara-ind.co.jp/>
 E-mail hanbai@yabuhara-ind.co.jp